



研究部通信

2022/5/18 文責 勝部



～西保学級 提案授業本当にお疲れさまでした～

5月16日2校時、3年1組、西保先生の学級で提案授業がありました(国語科、説明文「こまを楽しむ」)。今日の西保先生の提案授業をベースに、今後の研究に活かしていきましょう。

昨年度行ってきた研修を土台に、今年度は、さらに、視点2「互いの考えを伝え深め合う授業づくり」について全校で進めていければと思います。

事後研で話し合われた内容を簡単にお知らせします。

授業者より

- ・昨年出ていた深め合う姿を今の学級の実態として、どんな姿であればいいかを考えて授業を行った。
- ・発表が苦手、自信がないという児童のために、みんなが自分の考えを聞いてくれるという安心感のある雰囲気作りに努めた。
- ・視点1の確かに読む力で、今回、どんな力を身につけさせたいのかがわからないという指摘があった。
- ・話をしっかり伝え合い、お互いの考えの違いに気づかせたいと考えて授業を行った。
- ・ワークシートが似ているところと違うところにしぼって書いた方がいいと助言があった。
- ・全体交流でしっかり深め合えたかったので、それについてのみなさんの意見が聞きたい。
- ・視点2をメインに話しあってほしい。

成果

- ・子どもたちへの支持が明確、落ち着いて取り組んでいた。
- ・学習条規、ノート指導がよかった。
- ・聞き方のルールがわかりやすい。メモにも書きやすかった。
- ・赤と青のペンの使い方もよかった。
- ・つかむでは、例を提示したことがわかりやすかった。西保先生と伊藤先生の比較がよかった。
- ・ワークシートが要点を書く練習になった。効果的だった。
- ・伝え合うがメインの授業だったので、よかった。
- ・ワークシートのメモが聞き取れない子は見ながら書いていたのがよかった。

課題

- ・ペア交流ができるといい、さらに深まっていくと思う。
- ・自分と友達の比較、友達同士の比較のどちらを求めているのかが伝わってこなかった。
- ・全体交流で、教師が子どもたちの意見を吸い上げて進めていくとよいのではないか。
- ・比較の例の文字の大きさが小さかった。導入時間が長すぎた。
- ・交流したうえでの感想がわかりにくかった

- ・要約してメモを取るのは低位の子が難しい。
- ・もっとシンプルなまとめの方が取り組みやすかった。
- ・最初にあったランキングを最後にもってくるのもっと盛り上がった。
- ・メモから比べてわかったことの発問を厳選するとよかった。



教頭先生から

- ・今年度の研究の方向性をめざしてみんなでがんばってほしい。

校長先生から

- ・子どもたちの成長、学習規律の定着が素晴らしい。
- ・書く時は、話をしない。指示が明確。学級指導の基盤がしっかりとしていた。
- ・去年よりもよい意味で子どもらしく成長している。
- ・研修は、視点1を実現するための視点2なのではないか。
- ・1年後に自己肯定感をもって変容できるとよい。

～本時の板書～



～先生方から～

学習条規と「深める」の部分を
両立したい先生の思いがよく伝わ
ってきました。授業のまとめに○
○もおもしろそう。○○もやっ
てみたい。という笑顔がたくさん見
られるといいなと思います。

～感想カードから抜粋～

伝えあいのルールをしっかりと確
認することは大切だと感じました。
自分の考えをノートに書いておくこ
とで、伝え合う時間がたくさんとれ
ていてよかったと思います

～感想カードから～

他者の考えを聞くだけでなく、
更に色分けすることで考えを比較
していたのがよかったです。

～感想カードから抜粋～

先生方、お忙しいところたくさんの
参観、付箋でのご意見、感想カード
の提出ありがとうございました。

先生方、お忙しいところたくさんの参観、付箋で

のご意見、感想カードの提出をありがとうございました。